

# 議 事 録

会 議 名	令和6年第2回瀬戸警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	<p>令和6年6月12日(水) 午後3時から午後5時までの間</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>瀬戸警察署 講堂</p>
出 席 者	<p>1 委員</p> <p style="text-align: center;">             伊藤雄一郎 会長                      鍋嶋 洋行 副会長              杉本 重治 委員                      藤田 豊秋 委員              山内 敏也 委員                      寺田 康孝 委員              以上6名（定数10名）         </p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員</p> <p style="text-align: center;">             内田署長                      中本副署長                      神谷警務課長              伊藤会計課長                      安藤生活安全課長                      北村地域課長              向田刑事課長                      向井交通課長              以上8名         </p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	歩行者に重点を置いた交通安全対策
答 申 等 の 概 要	<p>1 小学生を中心とした児童に対する交通安全教育の徹底</p> <p>2 大型店舗周辺におけるパトロールや立しょう活動の実施及びタイミングに合わせた交通指導の実施</p> <p>3 ダイヤマークの周知及び道路管理者と連携した補修を含めた道路環境の整備</p> <p>4 各種媒体を活用した広報の推進</p>
そ の 他	1 次回開催予定 令和6年9月中旬から9月下旬

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況等（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況等（交通課長説明）
4	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	真に市民の求める地域警察活動の推進
	(2) 答申事項
	ア 相談ダイヤル 9110やパトネットあいちの周知、自治体等との連携強化を図ることにより、地域住民の身近で発生する事案に警察官が素早く対応できる体制の確保。
	イ 住民等と合同の見守り活動や市民への積極的な声掛けによる安心感の醸成と、事件・事故を未然に防ぐためのパトロール活動の強化。
	また、不在交番へのパトカーの立ち寄り等、安心安全のよりどころである交番機能の確保。
	(3) 具体的施策の推進状況（地域課長説明）
	ア 答申事項アについて
	(ア) 人の集まる祭礼やイベントにおいて相談ダイヤル 9110を広報した。
	(イ) 全交番の交番だより（3月号）でアイチポリスを紹介し、周知を図った。
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
イ 答申事項イについて	
(ア) 住民とのパイプ役として地域安全担当官を新たに配置した。地域会 合に積極的に参加させ、情報発信及び情報収集を行ったほか、積極的 に合同パトロールを実施して住民との連携を強化した。	
(イ) 交番相談員の積極的な活用を実施した。 好事例として交番相談員と事件情報を共有することにより、道路交 通法違反事件を解決するとの成果を上げた。	
(ウ) 警察官がパトロールや事件・事故対応のため交番を不在にする場合 は、地域課通信指令室につながる電話番号と不在理由を表記した案内 板を設置し、不在時の対策としている。	
(エ) 住民の身近で発生する犯罪やトラブル等を一事案解決運動に設定し、 住民と協力しながら解決することにより、安心感の醸成に努めた。	
5 諮問	
(1) 諮問事項 歩行者に重点を置いた交通安全対策について	
(2) 諮問事項の設定理由（交通課長説明） 交通事故防止対策を検討する際、基本的には、車両運転者に対する注意 喚起や取締り強化の着眼点で実施してきた。しかしながら、重体や死亡に 至る重大な交通事故の発生状況を確認すると、歩行者による飛び出しや信 号無視等も見受けられる。 重大な交通事故を防止するためには、歩行者にも更なる注意や警戒が必要 と思われることから、主に歩行者に対する有効な広報・啓発方法につい	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
て、協議会委員の御意見を頂き、今後の活動に生かしたい。	
6 協議	
委員	・ 事故統計から絞った、発生の多い時間帯や場所でのパトロールや交差点での立しょう活動の実施をしてほしい。
委員	・ ダイヤマークは、先に横断歩道がある印であるので、ドライバーが、すぐに止まれるスピードでの走行を促す啓発活動が必要である。
委員	・ 歩道があっても利用しない人が増えている。歩道や横断歩道の利用が交通事故を軽減できることを、運転者と歩行者の双方に啓発することにより交通事故を減らすことができるのではないか。
委員	・ 消えかかった横断歩道やセンターライン、ダイヤマークの早期補修を行ってほしい。
委員	・ 車両が通過した直前直後の横断歩道のない道路の横断や信号無視等の危険性の周知が必要だと思う。
委員	・ 幼児、児童、小学生等には、道路の安全な通行方法など、日常生活や教育現場における交通安全教育の推進が必要である。
委員	・ すべての市民が交通事故の危険性を認識し、日頃から交通ルールやマナーを遵守して行動することが重要である。
委員	・ 歩行者に、交通ルールの遵守や交通安全意識の醸成を促すため、交通事故多発交差点など街頭における啓発・指導やシミュレーター等を活用した参加・体験・実践型の交通安全教育の推進が必要だと思う。
委員	・ 歩行者と運転者双方の遵法意識の高揚を図る取組の推進をしてほ
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
しい。	
委員	・ 世代に応じた安全講話を具体例を用いて、地道に継続することが必要である。
委員	・ 交通事故発生場所での、注意喚起看板の設置をしたらどうか。
委員	・ 各種広報誌などの配布資料に歩行者による飛び出し・信号無視による事故の発生場所を掲載するとよいのではないか。
委員	・ 福祉施設や高齢者施設、病院の待合室など的高齢者が集まる場所での交通安全啓発動画の放映をしてほしい。
委員	・ SNSなどのメディアを活用した、安全な歩行の重要性を訴える広告の展開をしたら若者にも伝わるのではないか。
委員	・ 待つことは安全の基本で「よく見ること」「無理せず安全行動」の気持ちを保持することが重要である。
7 答申	
(1) 小学生を中心とした児童に対する交通安全教育の徹底	
(2) 大型店舗周辺におけるパトロールや立しょう活動の実施及びタイミングに合わせた交通指導の実施	
(3) ダイヤマークの周知及び道路管理者と連携した補修を含めた道路環境の整備	
(4) 各種媒体を活用した広報の推進	
8 懲戒処分事案の説明	
署長から当署員に対する懲戒処分事案について説明した。	
9 その他	
記録者	警務係長

